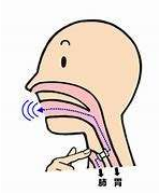
嗅覚リハビリテーションへの道　　K.H

副題:はやく会話ができるように！！

　『キッカケ』は『呼気の流れ』の改善から始まりました。
シャント発声には『腹式呼吸の強化』が必要だと知り、ストローを使って
ブローイングを試して見ました。半分位水の入ったコップを準備、ストローで
『ブクブク』継続して泡を出すことです。

ｽﾄﾛｰ･ﾌﾞﾛｰｲﾝｸﾞ



シャント発声

　『口を使ってブクブク』が出来る様になると、
『鼻を使ってブクブク』に挑戦してみました。
時間が掛かりましたが出来る様になるものです。
『口や鼻』から呼気を出せるようになれば、
必然的に、体内に陰圧が発生、空気が体内に
取込まれます。この練習のおかげでシャント発声技術が上達した気がします。

　北里大学・先生指導で『嗅覚リハビリ特別講義』を受けてみないかと
お誘いを受け、是非にとお願いしました。

【りすめる】

　『嗅覚リハビリ器具・りすめる』を使用、指導を受けた、
【ＮＡＩＭ：鼻腔通気法】に挑戦、
『ストロー･ブローイング』との因果関係は分かりませんが
すんなりクリア、課題の『匂いの検知』、『匂いの感知』は
かなり出来る様になりました。今、思うに、もっと早く
『りすめる』を使ったＮＡＩＭ法を始めていれば、ストロー
は不要だったかも？

　今回『嗅覚リハビリ特別講義』を受け、【りすめる】を使ったＮＡＩＭ法
嗅覚リハビリの他、シャント発声技術向上に役立つと信じております。

北里大学の先生、ありがとうございます